

令和4年度学校だより

学校教育目標 自主 責任 明朗



六中だより 2月号

開校43年目

〒352-0023 埼玉県新座市堀ノ内3-1 1-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku>

全生徒数：658名



春に備え、力を蓄える
～ 美しく・温かく・常に前進 ～

校長 齊藤 直之

先日、ある報告書にあいさつ文を寄稿する関係で、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を改めて見ていました。

この調査は、昭和39年から「体力・運動能力調査」として始まり、平成11年度からは名称を「新体力テスト」とし、国民の体位の変化、スポーツ医・科学の進歩、高齢化の進展等を踏まえ、これまでのテストを全面的に見直して、現状に合ったものとして行われています。

歴史ある国の調査ですので、様々な観点から結果を基にした分析が行われ、考察が書かれています。様々な角度から分析されていることから、生徒の現状がよく現れている資料となります。

ここで大切なことは、そういったデータをいかにして活用するか、その後の授業にどのようにつなげるのかにあります。体育調査だけでなく、これは「学力・学習状況調査」も同様です。そして、まさに今、この時期に何をするのか、春に備えて学校が意図的・計画的な取組をすることが求められます。

毎年、春になると美しい花をいっぱい咲かせ、迎えてくれる桜の木々は、秋からつぼみをふくらませて、じっと冬が過ぎ去るのを待っています。地面から吸った栄養をつぼみの中に蓄えて、春が来るのを待っています。そして、暖かくなって春が来ると、一斉に咲き始めます。桜の花が咲く時期、一年のうちでもっと

も華やかに見えるのは、春です。しかし、その桜の木は、花が散った時から、枝を伸ばし、葉を茂らせ、つぼみをふくらませ、準備をしているのです。だから、美しい花を咲かせることができるのです。

厳しい冬の時期、自然は雪の中でも、これからやってくる春に備えて準備をしているのです。自然は、そんな素晴らしいエネルギーをもっています。

学校においても、今は生徒たちがつぼみをつける時期です。今まで学んだことを自分の中に蓄え、次の学年で美しい花を咲かせることができるよう、学力を、体力を根気強く蓄える時期です。

寒い中でも、頭も体も心も温かくなるような授業を実践する。「やってみよう、頑張ろう。」そんな生徒たちの見方・考え方を働かせた授業実践の充実を推進する。春に向けて、「常に前向きな」「常に前進する」気持ちをもった生徒を一人でも多く。わたしは、そう願っています。

ちなみに、調査において児童生徒は、体育・保健体育の授業が楽しくなるためには「自分のペースで行うこと」、「自分に合った場やルールで行うこと」が必要だと感じており、また「友達と学ぶこと」の大切さも認識しているようです。

今は、一年間のまとめの時期。春になって進学・進級をしたら、勉強も運動も、大きな力を発揮できるように、今をしつかり見つめ、「友達と学ぶこと」を大切に、地道な取組を推進してまいります。